

Remote Desktop Client memo

Windows XP でポートフォワーディングによるリモートデスクトップ接続を利用する場合、下記の作業が必要になる。

次はクライアント側だ。リモートデスクトップクライアントから OpenSSH のポートフォワーダーにプロトコルを通す場合、リモートデスクトップから一度クライアント自身に接続する必要がある。そこでリモートデスクトップのプロパティを変更し、互換モードでプログラムを実行してローカルホストに接続できるようにする。

方法は簡単だ。クライアントとなるマシンのシステムディレクトリに格納されているリモートデスクトッププログラム

* C:\WINDOWS\system32\mstsc.exe

のプロパティを開き、互換性タブの互換モードにチェックして、互換対象 OS に Windows NT 98 / Windows Me を選択する(図 11)。互換性タブにチェックができない場合は、mstsc.exe と同じディレクトリの mstscax.dll を別のフォルダにコピーして使用すればよい。

<http://www.ipv6style.jp/jp/tryout/20030523/index.shtml>

Windows 7 での問題

少なくとも XP までは Remote Desktop Client でアクセスした先のコンピュータ上の CD/DVD ドライブに音楽 CD を入れたときも、ローカルのコンピュータ上と同様に、音楽の再生やリッピングが可能だったが、どうも Windows 7 からはこれができなくなっているように思われる。

とりあえずの対処としては、手元のディスプレイに入力端子が二つ以上あるか、手元に 2 台以上のディスプレイがあるのであれば、これまでリモートで利用していた PC のディスプレイ出力をここに接続し、キーボード・マウスの操作については Microsoft の "Mouse without Borders" や Input Director などを用いて「遠隔操作」を可能にする環境を作ることによって、それなりに以前と近い感触で「リモートの PC」をローカルで操作することができ、音楽 CD の再生・リッピングも可能になる。

Misc.

- ・ See also Windows Tips